

「スケラボ・ユース」2月は代表の川上大二郎（山高嶺）が松本に長期出張しています。まともな市民芸術館の企画で、串田和美さんのシェイクスピア劇の再演「K.テンペスト2017」の舞台監督です。川上：松本はなにせ水が美味しいので、珈琲を自分で挽いていただいています。至福の一時です！

踊ろう、話そう

スケラボ初の三島開催は土曜の昼間「こどもとダンスのハッピーな出会いのために」というキャッチコピーのついた今回の企画。幼児と身近に接していると、彼らが本能的に音楽に合わせて身体を動かすことに気付きます。テレビ番組を見ながら真似して楽しそうに踊る子どもたちが、その先の人生でも自然にダンスを楽しむためにはどうしたらいいだろう？ そんな子育て中の素朴な疑問から生まれた企画です。

先生は、スケラボではおなじみの長井江里奈さんと、サポートの鈴木綾香さん。短い時間の中で、「作品」を作ろうと考えつくれています。当日はぜひ、「自分のお子さんだけでなく、人間の身体を使った大きな世界や、ひとりひとりの動きと気持ちの連鎖などを、たくさんの人たちに見ていただきたいな」と思っています。

会場は三島市民文化会館の元喫茶店だったとこです。今は何もないけど、レッツダンス！外の舞台も使っちゃおう！



絵解きで美術史は3月
「絵画の技法実験室」として、2回にわけて、エッグテンペラによる描画演習を行います。
第2回はりんごを描きます。
日時：3/22（水）20時～
参加費：材料費として1,000円＋ワンドリンク
会場：カフェ・ラウアー（三島市南本町13-30）

妄想の現実
3月のスケラボは、沼津ラウンに戻って「コマージュサーカス」を行います。なんだそれは！10月に妄想会議をしました。今回はその続きです。あの時妄想でしたが、企画のタネだったものが、演劇やライブなど、現実のものとして発表さ

初めてのヤットナを おえて
1月13日に行われた、「狂言の会」はじめてのヤットナ！平日にも関わらず、80名ものお客様にご来場いただきました。ワークショップでは、台詞まわしや、泣き方、笑い方のお稽古、本番は本格的な衣装や小道具での「清水」を鑑賞しアフタートークでは舞台の作りや

舞台創造から始まる街の未来
こわちゃん
マリンバ奏者あやちゃんとの会場探しから始まったスケラボ応援活動。夏に汗と埃にまみれ、掃除をしてから半年。一緒に応援活動をする若者の成長は眩いばかり。人との関りが苦手だったり、学校や仕

れます。短い時間でいろんなジャンルのものが見られる、生CMみたいな感じ？今年度のスケラボ実験企画の最後を飾るものです。
今のところ、老人演劇、スキマcinema、巻上公一さんと佐藤正治さん、おっぱいの伴田先生となかなかの豪華メンバーです。展示とかもあるかも。

ルールなどのお話を聞かせていただきます。
総じて感じたのは、知るといふ行為自体が楽しいということと、分からなくてもそれはそれで楽しいということでした。
昔の言葉でも、笑えるのは、笑いというモノがどれだけ昔から存在していたのか、という驚きと喜びにつながりました。
幸せな時間でした。んー、また呼びたい。(山高嶺)

事に馴染めず悩んでいた若者が、舞台の裏方の担い手になり、スケラボの皆さんと関わることで、繋がりを広げ、場を一緒に楽しんでいる。
一人でも多くの人が若者と生の舞台を一緒に見て共感しあい、この街を一緒に楽しんでもらいたい。(母力・Pj)

26.Oct.2016 RAKUUN 妄想会議

3/19 Sun.
16:00-20:00
Numazu Rakuun8F

空き家と、文化プログラム
2/26午後1時から3時に沼津のプラサヴェルデで開催されるトークイベントに、スケラボメンバーの行員チエが出演します。一緒に話すのは熱海の市来広一郎さんと、美術家の深澤孝史さんです。刺激的！要申し込み、申し込み方法はタイトルでネット検索してください。

仲間を増やしたい
スケイル・ラボラトリーでは、手伝ってくださる仲間を募集しております。舞台制作はもちろんのこと、力仕事、接客、広報、ロビー活動、調略など、得意な部分、興味のあることで手を貸していただければ嬉しいですよ。
info@scalelabo.jp #66

Scale Laboratory のイベントへのお申し込み・お問い合わせは、info@scalelabo.jp まで。Facebook もやっています。みなさんはFacebook されていますか？ イベントの感想なんかもいただけたらとても嬉しいですよ。ここに掲載させていただきますか？